「だけ」の用法

三　枝　令　子

1．はじめに

従来係助詞・副助詞という名前のもとに分類されてきた一群の語がある。ここで扱おうとする「だけ」も，山田（1908）の命名以来副助詞に分類されている。しかし戦後，より構文論，機能論の立場からこれを「取り立て助詞」もしくは「取り立て詞」という名称のもとに扱おうとする立場が出てきた。

寺村（1981）は，「コトを描くに当たって，あるいは描き上げつつ，それの付着する構文要素を際だたせ，そのことによって自分のコトに対する見方を相手に示そうとする」役割を担う助詞を「取り立て助詞」として一括し，「だけ」をその中に含めている。

奥津（1986）は，橋本文法の語の自立・非自立を基準とした詞と辞の区別は，名詞・副詞などのカテゴリーと上下分類ではなく交差分類をしているという立場から，従来の助詞というカテゴリーをやめ，係助詞・副助詞の大部分を「取り立て詞」という名称のもとに統合した。「だけ」については「できるだけ早く論文を仕上げる」というような用法は形式名詞に，「銀行業者だけを集めた」のような用法は「取り立て詞」に分類している。

この小論は，もとより「だけ」の構文的な位置づけを意図したものではなく，単に日本語を学ぶ留学生の「だけ」の誤用の分析から，どうしたら間違えずに使えるかという視点にたってその用法を考えようとするものであるが，これからここで検討を試みようとしている「だけ」については「取り立て詞」という名称がその機能と用法を最も的確に表していると考えられる。

2．学生の誤用例とその傾向

用例の文頭にふした記号のうち，通し番号は学生の誤用のデータであることを表す。文末に番号のあるものはコンピュータに入力された誤用研究のデータ[1]で，その入力コード番号を示す。文末に番号のない誤用は1987年に来日中の東京外国語大学研究留学生のもの。また章毎の数字はＫＷＩＣの用例[2]（だけ1548例，しか195 例）と文学作品・随筆等からの用例で，後者については末尾に出典を載せた。アルファベットもしくは記号の無いものは作例である。

「だけ」の誤用例とその傾向（→は，ふつう日本人がとる言い方を示す）

① 助詞との結合法

1　彼岸だけまで天候はそんな違いをつづくと言われている。（H6ZT1210006）

→彼岸までは

2　日本人は自分の文化だけ接触した。（H6ZJ1209023）

→自分の文化だけに／にだけ

3　日本語音声だけ情報を伝うより，文字表現で視覚的な情報を伝達と働く。（H6ZJ1206002）

→音声だけで／音声でだけ

4　香港は小いけれども観光地も多いから一日だけ見きれない。（H6ZT1210002）

→一日だけでは

5　銀行は3時までだけあいている。

→3時までしか

6　ラジオは聞くのだけですが，運ぶが便利します。（B6SJ0312003）

→ラジオは聞くだけですが

②　「しか」を用いるべきところに「だけ」を使う

7　部屋の中にこたつだけがあります。（K6JJ3409009）

→こたつしかありません

8　私は掃除することが嫌いですから，一ヶ月に一回だけ掃除しのために部屋があまりきれいではありません。（K6JJ3409004）

→一ヶ月に一回しか掃除しないために

9　日本語は半年だけ勉強したのでまだ下手です。

→半年しか勉強していないので／半年しか勉強しなかったので

10　今朝パンを一枚だけ食べたので，おなかがすいた。

→一枚しか食べなかったので

11　パーティがあったが，3人だけ来た。

→3人しか来なかった。

「だけ」の誤用は，上に見るように助詞との結合の仕方の間違いによるものと，「しか」を用いるべきところに「だけ」を使う誤りとに大きく分けられる。また「高いだけにおいしい」のような「～だけに～」は実際の用例には非常に使用頻度が高いものであるが，三枝が接した範囲では学生の作文には使われることがない。一方「だけ」と意味的に近い「しか」については，「しか～ない」のパターンが定着しているため，間違って使うことは少ない。「しか」の誤用は次にみるような助詞との結合法にのみ見られた。

12　言葉を知らないし，漢字を読めないし，意味をしかできません。（B6SP1701005）

13　マレーシアでおおきな病院がしか新しい方法使わない。（K6AJ1623005）

14　極端な気温は，彼岸までにしかないと言われる。（H6ZT1209006）

そこでまずはじめに「だけ」の助詞との結合法を考察し，次に「だけ」の意味を考えながら先の②のような誤用を検討する。

ところで国立国語研究所の『現代語の助詞・助動詞－用法と実例－』には，「だけ」の意味として「1　限度を画する形で程度を示す。2　範囲をそれに限定する。」とある。この場合の程度は奥津（1986）の形式副詞に当たると考えられるが，実際，程度と範囲限定の使い方は分けて考えた方がよいと思われる。ただ「程度」の「だけ」はひとつの副詞としてもしくは熟語的に使われるので，学生の誤用は少なく，ここでは検討の対象にしない。「だけ」の程度の用例としては次のようなものを考える。（以下下線はすべて筆者による。）

できるだけ

2－1　正常化すれば，できるだけ早くやめる。

2－2　他の民間の機関にも頼んでできるだけのことをしたい。

～ば～だけ

2－3　言うだけ無駄だろ。（眠り人形）

これだけ・それだけ・あれだけ

2－4　～塁打などで三点を加えたが，これだけ援護があれば西も楽。

2－5　入院していたのはちょうど八十日間だった。一応危機を脱し，多少心に余裕ができるようになると，ペペがいまどうしているか，それだけが気になった。人間どもはどうでもいいというわけではないが，動物は自分の想いを自分の言葉で人に伝えることはできないから，それだけあわれがひとしおである。（ペペ）

2－5では二つ目の「それだけ」を程度と考える。程度と範囲限定の「だけ」はアクセントによっても区別される。

a　食べられるだけ食べなさい。

b　食べられ┐るだけ┐食べなさい。

「程度」を意味するaの方が一語意識が強いと見ることができるが，アクセントによる区別は絶対的なものではなく，文脈による。

どれだけ

2－6　東京の空がどれだけきれいになるか，ということですが

「だけに」もどちらかといえばこの「程度」に入れるのが適当と思われる。ただ「だけに」はそれだけで独立した意味を持っていると考えたほうが良いであろう。（＊は非文。以下同様。）

a　親切にしたばかりに殺された。

＊b　親切にしただけに殺された。

「ばかりに」も「だけに」も理由を限定しているが，「ばかりに」の場合は悪い結果しかなく，また未来の事態には使えない。その点「だけに」は事態の時制には制約がない。ただ後半には良くもあしくも感嘆すべき内容の来ることが多く「それ故一層」という意味を持つ。

3．「だけ」と助詞の結合法

助詞と「だけ」の結合法には「名詞＋だけ＋助詞」と「名詞＋助詞＋だけ」の２通りがある。どちらをとるかは助詞と動詞の関係によって決まる。

① 「が」との結合法

３－１　松代町ではこの時だけが震度２であとは１の震度だった。

３－２　必ずしも援助要請だけが目的とは考えられない。

名詞＋だけ＋が　の形しかとらない。「が」の省略は可能。

否定形は二義的だが，これは否定辞の作用域が異なるためである。

〈ペンキ塗りだけが〉〈楽な仕事ではない〉

〈ペンキ塗りだけが楽な仕事で〉はない

② 「を」との結合法

３－３　住宅侵入と暴力行為脅迫だけを有罪とした。

３－４　お名前のローマ字だけ覚えてください。

名詞＋だけ＋を　の形しかとらない。「を」の省略は可能。

否定形は二義的だが，これも否定辞の作用域が異なるためである。

〈野菜だけを〉〈食べない〉

〈野菜だけを食べ〉ない

③ 「に」との結合法

３－５　将来の追加参加国が自由主義国だけに限定されたことなど，二，三の点については問題を残している。

３－６　生鮮食品を小売商にだけ安く売らせようというのは土台無理な話。

名詞＋だけ＋に

名詞＋に＋だけ　の２通りの形をとる。ただし，ＫＷＩＣの用例には２番目の形は少ない。

構文的には対象となる名詞を直接限定するか，格関係を含めて限定するかという違いだが，意味的には差を認めがたい。「に」の省略は基本的には不可能。ただし可能，使役，受身，感覚動詞等の受け手を表す「に」は省略が可能である。

私にだけわかる／私だけわかる

私だけに聞こえる／私だけ聞こえる

彼だけにやらせてください／彼だけやらせてください

彼だけに渡してください／＊彼だけ渡してください

（彼を渡す？）

④ 「へ」との結合法

名詞＋だけ＋へ

名詞＋へ＋だけ　の２通りの形をとる。ただし，ＫＷＩＣの用例にはどちらの形もなかった。

時間がなかったので日光だけへ行った。

時間がなかったので日光へだけ行った。

意味的には差を認めがたい。「へ」の省略は動詞の種類によっては可能。

動詞の素性	文型	属するもの
A 1　主体を表示することにより始発点を特定する	PがNPからV	動く，移る，さがる 遠のく，逃げる， 抜ける
2　主体を表示することにより帰着始発点を特定する	PがNPへ／に	返る，帰る，もどる
3　移動の方法を特定し，移動する主体とその通り道を問題とする	PがNPをV	落ちる，降りる， くだる，すすむ， とぶ，流れる，の ぼる，わたる
B　始発点，帰着点，移動の方法のいずれも特に定めない	NPがNPをV NPがNPに／へV	行く，通う，来る 出る，のぼる

星野（1986) pp.18 より転載

上の星野の表で「へ」の省略が可能なのは，動詞がBの場合で，A 2の場合には省略ができない。

鮭は，自分の生まれた川へだけもどる。

＊川だけもどる。

⑤ 「で」との結合法

3－7　力だけで圧倒しようとするために，依然として粗雑さが目だつ。

3－8　このマークの薬局・薬店だけで販売しています。

3－9　タカシマヤオメガ・コーナー6階だけでごらんになれる精緻で華麗な逸品集

3－10　東京都内だけで昨年六百の貸金業者がつぶれた。

3－11　今のお話だけで，ブルゴーニュの農村も，農村の人たちも好きになりました。

名詞＋だけ＋で

名詞＋で＋だけ　の２通りの形がありうる。ただし，ＫＷＩＣの用例には２番目の形はなかった。結合法の違いが意味の違いをもたらす。３－11を例にとると，

a　今のお話だけで好きになりました。

b　今のお話でだけ好きになりました。

の２通りの形があるが，ｂはほかの手段では好きにならなかったということで「今のお話では」に近い。すなわち「でだけ」は，他の手段や場所の可能性を排除している。

c　バスだけで行ける。

d　バスでだけ行ける。

ｃではほかの乗り物は必要ではなく，ｄの場合はほかの乗り物では行けない。この違いは，ｃの「だけ」がちょうど準体助詞「の」のように修飾部分全体を名詞化しているのに対し，ｄの「だけ」はｃに較べて述語に係る度合が強いためにおこると考えられる。そこで述語が可能形であったり，３－10のように「だけ」が指示する対象によってある変化がもたされる場合等に意味の差がはっきり表れる。

「で」の省略は不可能。たとえば３－８を「このマークの薬局・薬店だけ販売しています。」とすると，この薬店は主格か目的格かのどちらかにとれる。

⑥　「と」との結合法

３－12　「緊急な国際情勢を話し合った」とだけ語っている。

引用の「と」と共起の「と」があるが，ＫＷＩＣには共起の例はなかった。

彼とだけ話したい。

引用の「と」の場合には　名詞＋と＋だけ　の形しかとらない。共起の場合には　名詞＋だけ＋と　の形も可能ではあるがあまり自然な感じがしない。「と」の省略は不可能。

⑦　「から」との結合法

３－13　このようなことだけから自動車工業が今後景気の回復にともない

３－14　こうしたことばからだけでも，彼の言う「伝統」が単なる形の問題にとどまらず

名詞＋だけ＋から

名詞＋から＋だけ　の２通りの形をとる。「から」の省略は不可能。

⑧　「の」との結合法

３－15　それとも，私のまわりだけの特例でしょうか。

名詞＋だけ＋の　の形しかとれない。準体助詞の「の」はここでは考えない。

省略は不可能。

⑨　「は」との結合法

３－16　試験だけは一緒に受けます。

３－17　少なくとも命だけは助けることができたはず。

a　　私は教師です。

b　＊　私だけは教師です。

三上（1981）の言う初出の題目の提示の「は」に「だけ」を使うことはできない。bを言うなら「私だけが教師です。」となる。そこで「だけは」の「は」はすべて対比の意味を担う。結合は名詞＋だけ＋は　の形しかとれない。省略は不可能。

⑩　その他の助詞相当語

3－18　とくにインドに対してだけベトナム和平をめぐる従来の強行態度をやわらげる意向をほのめかし

3－19　フランコ総統は国家元首としてだけとどまることになった。

3－20　単に，ゴルフについてだけではなく，ほかにも当てはまることだと信じてます。

名詞＋助詞相当語＋だけ

名詞＋だけ＋助詞相当語　の2通りの形がある。省略は不可能。ただし，3－20のように文脈によって格関係がはっきり示されれば省略も可能。

以上，助詞と「だけ」の結合法を見た。各助詞の結合法と省略可能性をまとめると次のようになる。

1　助詞「は，が，を」の場合は「名詞＋だけ＋助詞」の結合法しかなく，また常に助詞の省略が可能である。ただ格助詞「を」と「が」は省略すると，対比の意味合いが強まる。

2　「に，へ」の場合には，「名詞＋だけ＋助詞」と「名詞＋助詞＋だけ」の2通りの結合法がある。助詞の省略は可能なときと不可能なときとがあり，「に」の場合には　動詞が可能，使役，受身，感覚動詞等である場合に，「へ」の場合は　動詞が始発点，帰着点，移動の方法のいずれも特に定めない場合に省略が可能である。

3　「で」の場合は，「名詞＋だけ＋で」と「名詞＋で＋だけ」の2通りの結合法があり，述語が可能形や変化を示す時には結合法によって意味が変わる。「で」の省略は不可能。

4　「と，から」やその他の助詞相当語の場合には，常に省略が不可能である。引用の「と」に「名詞＋だけ＋と」の結合法しかないほかは，2通りの結合法がある。

以上の検討から助詞の省略については，動詞によって共起指定を受けている助詞が省略不可能なことがわかる。

「しか」と助詞の結合法については例を逐一あげることは省略する。結論としては次のようなことが言える。まず結合の仕方は「しか」の場合には　名詞＋助詞＋しか　の形しかない。また助詞の省略可能性については次のようである。

1　助詞「は，が，を」の場合は常に助詞が省略される。

2　助詞「に，へ」の場合は　動詞と任意的な共起関係の時には省略できない。

3－21　仲のいい，年長の友達ぐらいにしか思っていませんよ。

＊年長の友達ぐらいしか思っていませんよ。

3－22　あわい味ぐらいにしかわからなかった晩年の作品が，この頃では

＊あわい味ぐらいしかわからなかった晩年の作品が，

3　「と」やその他の助詞は省略が不可能。

以上で「だけ」と助詞の結合法の検討を終わるが，日本語以外の言語では可能なことが多い「まで」と「だけ」との結合が日本語にはなく，「まで」は「しか」としか結合しないので，教育の現場では一言注意する必要がある。

4．「だけ」の意味

a　ミルクを飲む。

b　ミルクだけ飲む。

c　ミルクばかり飲む。

aは，単に「ミルクを飲む」ことを表現している。それに対して　bはミルク以外のものは飲まないことを表現している。この対象の取り立てということは　cがミルク以外のものを飲むことを完全に否定してはいないことと較べると，「だけ」のもっとも基本的な意味と考えられる。すなわち「だけ」は　他の存在を否定して「だけ」が修飾する対象の存在を取り立てているといえる。ただし　bの用例からもわかるように話者の意図は他の存在の否定にあるのではなく，取り立てにある。そこで他の存在に全く関与せず指示対象のみを取り立てたいならば，「だけ」は適当ではない。この場合には「こそ」を用いる。

彼こそが真の国際人だ。

彼だけが真の国際人だ。

以上の「だけ」の意味から派生する問題として次のようなことが言えよう。ミルク以外のものを飲まないということは，他の飲物の存在が前提されていなければ出現しようのない表現である。すなわち「だけ」は　「だけ」が修飾する対象の領域全体が話者に把握されていなければ用いられない。

4－1　一九七二年の夏，私は一年間の予定で，アメリカのミシガン大学に研究員として招かれていた。正式職名はresearch associateといって，義務は研究だけという恵まれたポジションだった。（若き数学者）

この場合表現されてはいないが，話者は　大学の仕事である以上教育等の他の仕事も頭に置いていたと考えることができる。「だけ」の前提はこのように聞き手が当然了解できる社会の共通認識であるなら明示されなくても構わないし，更には「だけ」の使用によって自分の前提を相手に押し付けるということも行われる。

「見て，こんなにたくさん仕事したのよ。」

「あら，それだけ。」

このように「だけ」は　修飾する対象の属する領域が設定されなければ使えない表現であるから，

不特定のものを示す初出の存在文に用いられることはない。

7　部屋の中にこたつだけがあります。

但しこの場合意味は異なるが，「部屋の中にだけコンセントがあります」は可能な表現であるが，この場合には「部屋の中」以外の場所が前提として考えられていなければならない。「だけ」を使うときには修飾する対象の属する全体の範囲が既知であるということから，実際には「こそあ」とともに用いられることも多い。先の（ぺぺ）のひとつ目の例。また疑問詞と「だけ」も同じ理由で共起できない。

＊　何人だけごはんを食べますか。

但し程度を示す「どれだけ」はある。

また既知の特定のものが対象であることから，「くらい」「ほど」のような概量を示す語にはつきにくい。

＊　今年は2万羽ぐらいだけ来た。

以上「だけ」の意味と，そこから生ずる文法上の制約をみた。「だけ」は構文的には名詞・形容詞・形容動詞・動詞を修飾し，それを名詞化する。名詞接続の場合には名詞に直接接続する場合と格助詞に接続する場合とがあるのはすでに見てきた通りである。しかし「だけ」の使われる構文上重要なことは，学生の誤用を検討するかぎり「だけ」の文中における接続のしかたではなく，「だけ」に助動詞の「だ」が接続した「だけだ」による強調構文と，それ以外とを分けて考えることだと考えられる。そこで次に「だけだ」の用法について考える。

5．「だけだ」の用法

a　＊　日本語は半年だけ勉強しましたから，まだ下手です。

b　　日本語を勉強したのは半年だけですから，まだ下手です。

aは留学生の作文によく見受けられる誤用であるが，この文をbのように強調構文に変えれば非文ではなくなる。これは文の中での「だけ」の係り方の違いによると考えられる。aの「半年だけ」は「勉強し」までしか係っていない。すなわち「勉強する」という概念を修飾している。もし「日本語は半年だけ勉強しました。」という単文ならもちろん非文ではなくなるが，その場合の「だけ」は勉強した期間が半年であることを取り立てているにすぎない。一般に「だけだ」以外の「だけ」が文中でその勢力の及ぶ範囲は限られている。最も限定されているのは「の」に係る「だけ」と言えよう。

5－1　自分だけのお城が欲しいの。（指輪）

この「だけ」は「お城」にしか及んでいない。であるからa文の非文性は「だけ」の使い方にあるというよりも，そもそも前文と後文の非論理性にあると言える。たとえ「だけ」がなくともこの文は非文である。

c　＊　日本語は半年勉強しましたから，まだ下手です。

bの「日本語を勉強したのは半年だけですから，まだ下手です。」が非文にならないのは，「半年だけだ」が文全体に係って，話者の判断を示しているためと考えられる。日本語を勉強したのは半年以外ではなく，勉強は0からスタートして段々蓄積していくものであるからこの場合は半年以上ではなく，半年であるということを取り立てている「だけ」である。その判断があるから，まだ下手だと言えるのである。

この「だけだ」はちょうど「わけだ」「ことだ」「ものだ」等と同じようにコトの内側ではなく外側で話し手の判断を表す，いわば寺村（1980）の「ムードの助動詞」と呼ぶべきものである。ただ「わけ」「こと」「もの」等の名詞としての用法は，それらの助動詞としての使い方とははっきり識別される意味を持っている。それに対して，「だけだ」は意味的にはそのほかの「だけ」と異なるところがない。留学生の誤用が多い理由のひとつは，「パンだけ食べた。」「食べたのはパンだけだ。」でも意味は異ならないため，「だけ」の文への係り方の違いを意識しないことによると思われる。

8　一ヶ月に一回だけ掃除しのために，部屋があまりきれいではありません。
　→掃除するのは一ヶ月に一回だけのために，部屋があまりきれいではありません。

10　今朝パンを一枚だけ食べたので，お腹がすいた。
　→今朝パンを一枚食べただけなので，お腹がすいた。

11　パーティがあったが，3人だけ来た。
　→パーティがあったが，来たのは3人だけだった。

このように複文になると間違いが顕著である。

先に「パンだけ食べた」と「食べたのはパンだけだ」とは意味的に異ならないと述べたが，ここには微妙な問題がある。

5－2　永井がトライゴールをあげただけ。

この文は「永井だけがトライゴールをあげた。」「永井がトライゴールだけをあげた。」とは異なる。それぞれ強調構文にすれば「トライゴールをあげたのは永井だけだ」「永井があげたのはトライゴールだけだ」となり5－2と意味的に異なることは明かである。それにもかかわらず現実にはこの二つの文の意味で5－2を使うことがある。5－2が取り立てているのは「実際になされたことは，永井がトライゴールをあげたこと」であるのにこうしたことが起こるのは，この「あげる」という述部と格との結び付きが強いため，その支配する名詞部分にも「だけ」の力が及んでいるように受け取られるためと考えたい。

ところで先の留学生の誤用例は「しか」を使って言い替えても正しい文である。

一ヶ月に一回しか掃除しないために，部屋があまりきれいではありません。

今朝パンを一枚しか食べなかったので，お腹がすいた。

パーティがあったが，３人しか来なかった。

ちなみに佐藤（1986）には名詞が「しか」に接続している用例の内，「だけ」への変換が不可能なものとして38例があがっているが，しかしこれを「だけだ」の形に変換するのであれば，38例中36例までが変換可能となる。変換不可能な２例は「しか」が「わけではない」という否定形と呼応しているものである。

この「しか～ない」文と「だけだ」文の基本的な相違点は構文にある。すなわち「だけだ」は「～は～だ」という強調構文である。

部屋の中にいろいろなものがありますか。

d　いいえ，こたつしかありません。

e　いいえ，あるのは，こたつだけです。

「しか」も強調構文にすることができないわけではない。dは「いいえ，あるのはこたつでしかありません。」と変換できるし，先のaは「日本語を勉強したのは半年でしかありませんから，まだ下手です。」となる。しかし実際の用例には「しか」を使った強調構文は見られない。「しか」は，述部ともともと呼応しているので話し手の判断が必ず示され，わざわざ強調構文にする必要性が少ないためであろう。

「しか」は，実際には「ない」という否定辞と呼応しており，「だけだ」が対象を取り立てることに強調点があるのとはその点で意味的にも違いがある。駅に急いでいる人が時計を見て発話する場合，「あっ，あと５分だけだ。」よりも「あっ，あと５分しかない。」という方が自然であろう。「だけ」は対象を限定して取り立てるのであり，「しか」は対象以外のものはないことに主眼の置かれた表現である。そのためその時の話し手の心理状態に合わせて，「だけ」「しか」のどちらかが選ばれる。しかし否定辞と呼応しているからといって「しか」が「その対象の価値を低く扱い，それでは不十分だというような気持ちを表す」（日本語教育辞典）とは言えないであろう。

５－３　空の交通マヒを救う道はこれしかないとボーイング社とダクラス社の鼻息は荒いが，

あなたを愛しているのは，私しかいない。

「これしかない」というのは「これで仕方がない」という意味の場合もあるが，逆に例のように積極的に「これ以上のものはない」という意味の場合もある。ただし指示対象が数量の場合には，否定される存在がそれ以上の数になるから「数が少ない」という意味は帯びる。しかし「残念だ」というような意味合いを「しか」が持っていることにはならないと考えられる。

三点しか負けていない。

なお数量につく「だけ」もほかの「限定」の「だけ」と意味の上で異なるところは見あたらない。「だけ」と「こそ」の相違点と同様に，数量の場合もその数量を他の数量に全く関与せず取り立てたいならば，たとえば「たった」のような副詞を使って表現する必要がある。

?部屋代は　二万円だけだ。

部屋代は　たった二万円だ。

今後の課題

以上学生の誤用例をもとに「だけ」の意味と用法を考えてみた。誤用例にはなく今回は取り上げなかったが，「～だけで，～」の意味と使い方も「だけ」に関してなおざりにはできないところである。また学生の母語における「だけ」に当たる語とその用法の日本語との異同についても考えていきたい。

注

1）特別推進研究（１）課題番号600600015
日本語の普遍性と個別性に関する理論的及び実証的研究
代表者　井　上　和　子
2）ＫＷＩＣの用例については国立国語研究所の御厚意により使用させていただきました。ここに記して感謝の意を表します。

参考文献

奥津・沼田他（1986）　『いわゆる日本語助詞の研究』凡人社
北原保雄（1981）　『日本語助動詞の研究』大修館書店
呉　雅琴（1986）　「取立て助詞「ダケ・バカリ・シカ」の一考察－中国語の副詞「只」との対照－」『日本語と日本文学』第６号
国立国語研究所（1951）　『現代語の助詞・助動詞－用法と実例』秀英出版
佐藤恭子（1986）　「「しか」と「だけ」の用法－名詞に接続する場合－」『日本語・日本文化』第13号　大阪外国語大学研究留学生別科
寺村秀夫（1979）　「ムードの形成と意味（１）－概言的報道の表現－」『文芸言語研究　言語篇』第４巻　筑波大学
（1980）　「ムードの形成と意味（２）－事態説明の表現－」『文芸言語研究　言語篇』第５巻　筑波大学
（1981）　「ムードの形成と意味（３）－取立て助詞について」『文芸言語研究　言語篇』第６巻　筑波大学
日本語教育学会（1982）　『日本語教育事典』　大修館書店
橋本進吉（1969）　『助詞・助動詞の研究』　岩波書店
星野和子（1986）　『現代語における「も」の用法』　東京女子大学　日本文学科
三上　章（1981）　『日本語の論理』　くろしお出版
森田良行（1980）　『基礎日本語２』　角川書店
山田孝雄（1908）　『日本文法論』　宝文館書店

用例出典

1　数学者　『若き数学者のアメリカ』藤原正彦　1986　新潮文庫

2　ペペ　『春と猫塚』良知　力　1987　「高校生のための批評入門」所収　筑摩書房

3　眠り人形『眠り人形』向田邦子　1982　「蛇蠍のごとく」所収

3　指輪　『指輪』テレビ東芝日曜劇場より